

事業番号	09 05 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域ぐるみで行う農地の保全活動を支援する事業		部局	農政部	課・室	農地整備課
			実施期間	H19～	E-mail	nochi @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

農村地域における過疎化・高齢化や担い手の減少などにより、地域の協働で行われてきた水路、農道など地域資源の保全管理に支障が生じている。

2 事業目的

農業者や地域住民が取り組む水路の泥上げや農道の路面維持、植栽による景観形成など、農地・農業用施設等の適切な保全管理を支援し、農業・農村が持つ多面的機能を次代に引き継ぐ。

3 事業目的を達成するための取組

① 交付金による地域ぐるみで取り組む農地保全活動への支援

○ 農業・農村が持つ多面的機能を次代に引き継ぐため、農業者や地域住民が取り組む農地・農業用施設等の保全活動を支援

農地維持支払交付金	資源向上支払交付金	
<p>地域共同による農用地、水路、農道等の地域資源の基礎的な保全活動を支援</p>  <p>水路の泥上げ</p>	<p>(1) 【共同】 地域資源の軽微な補修や農村環境保全活動を支援</p>  <p>用水路の目地補修</p>	<p>(2) 【長寿命化】 老朽化した農業用施設の長寿命化を支援（施設の補修・更新）</p>  <p>水路の更新</p>

4 成果指標

(推移の凡例 ↑: 改善 ↓: 悪化 →: 変化なし —: 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度目標値	達成状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	実績	推移			
①	多面的機能支払事業による活動面積（認定農用地面積）	ha	44,781	↘	43,612	↘	43,071	↘	44,500	未達成	令和6年度活動組織が事業計画に位置付けて活動を行う面積（認定農用地面積）A=44,500haを目標に設定 ※活動面積について、R5年度から指標を認定農用地面積に変更（R4年度までの指標は交付対象面積としていたが、本表は全て認定農用地面積）

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
3-1③	地域活力の維持・発展	地域運営組織数	団体	2022 (R4)	254	2023 (R5)	255	2024 (R6)	265	2027 (R9)	289

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	1,966,000	△ 173,473	1,792,527	582,745	1,792,525	8.1
R5年度	0	1,977,700	△ 190,097	1,787,603	582,956	1,786,354	8.3
R4年度	0	1,969,100	△ 179,127	1,789,973	583,633	1,789,947	8.4

事業番号	09 05 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域ぐるみで行う農地の保全活動を支援する事業	部局	農政部	課・室	農地整備課	

7 主な取組実績と成果

①交付金による地域ぐるみで取り組む農地保全活動への支援

農地等の保全活動、地域資源（農地・水路・農道・ため池等）の質的向上を図る共同活動、施設の長寿命化のための活動を支援

地域資源の基礎的な保全活動（水路の草刈り）



地域資源の質的向上を図る共同活動（農道舗装）



8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標	① 多面的機能支払事業による活動面積（認定農用地面積）	R5年度推移	↘	R6年度推移	↘	達成状況	未達成
	農業・農村が有する多面的機能の保全に関する研修会を各市町村に赴いて（85回）開催し、事業制度の周知や機運の醸成を図ったことにより43,071haにおいて保全活動が行われたが、地域の高齢化や人材不足により活動が縮小し目標を下回った。						

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・活動の取組・継続に当たって、「構成員の高齢化により人材確保が困難」、「役員のなり手がいない」等の意見が多く、活動を担う多様な人材の確保・育成が必要である。
- ・活動組織や市町村が行う書類作成等の事務について、書類の簡素化、負担軽減の要望が継続的に寄せられている。

(2) 事業改善の方策

- ・組織の広域化を推進し、活動に対する人材の確保、事務の集約化を図る。
- ・組織に対する個別相談等の支援を強化するとともに、国が行う研修会への参加を促し、優良事例等を知ることにより、機運の醸成を図る。
- ・地域外や都市部から人材を呼び込み、組織の存続を図る。また、活動組織の体制強化に向け、活動組織と外部団体等とのマッチングの仕組みの構築に取り組む。
- ・体制強化のため活動組織の広域化と活動組織内の集落をまたいで共同活動を支援する活動支援班の設立を進める。

事業番号 09 05 02 **細事業一覧（令和6年度実施事業分）** 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	地域ぐるみで行う農地の保全活動を支援する事業	部局	農政部	課・室	農地整備課
-----	-------------------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	多面的機能支払事業	1,789,947 千円	1,786,354 千円	1,792,525 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	多面的機能支払事業	補助金	・農地等の保全活動への支援 ・地域資源（農地・水路・農道等）の保全のための共同活動及び施設の長寿命化のための活動への支援 活動面積:43,071ha 活動組織数:680組織	